

# 総務委員会 報告資料

令和4年2月28日

報告事項件名	頁
1 SDG s 未来都市等の提案書の提出について . . . . .	2
2 足立区転出入者アンケートの調査結果について . . . . .	4
3 足立区制90周年記念事業の選定について . . . . .	6
4 日本公共サービス研究会の休会について . . . . .	9
5 令和3年度行政評価（令和2年度事業実施分）の反映結果について . .	11
6 足立区外国人実態調査結果（速報）について . . . . .	12
7 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の報告について .	13
8 区公式ホームページの多言語化機能の変更について . . . . .	16

（ 政策経営部 ）

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	SDGs 未来都市等の提案書の提出について				
所管部課名	政策経営部 政策経営課				
内容	<p>内閣府地方創生推進室主催の令和4年度SDGs 未来都市及び自治体SDGs モデル事業について、以下の内容を含む提案書を提出する。</p> <p><b>1 提案理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足立区におけるSDGs 推進に係る気運醸成を図ること。</li> <li>・ SDGs のゴール実現に向けた職員の政策形成能力や実現力を高めること。</li> </ul> <p><b>2 提案書の構成</b></p> <div data-bbox="392 884 1394 1509" style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p style="text-align: center;"><b>SDGs 未来都市の提案書</b> 提案は「全体計画」と「自治体SDGs モデル事業」で構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">全体計画</th> <th style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;">自治体SDGs モデル事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年における「あるべき姿」を各自治体の課題に則して設定</li> <li>・ 社会、経済、環境の三側面における「あるべき姿」を実現する。SDGs に則した都市モデルの構築</li> </ul> </td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様なステークホルダーと連携して地域における自律的好循環を見込める取組を提案</li> <li>・ SDGs 未来都市の中から10都市が選定される。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">全体計画を先導する取組</p> </div> <p><b>3 全体計画骨子（自治体全体でのSDGs の取組）</b></p> <p>(1) 2030年のあるべき姿 「（仮称）逆境を、未来を変えるステップへ ～ボトルネック的課題 その先の挑戦～」</p> <p>貧困は経済的な面だけでなく、固定化すると多様なチャレンジの機会すら得られない格差を生み出す。子どもや若者の前向きな挑戦、大人や事業者の意欲的なチャレンジができるまちを実現することで、貧困の連鎖解消への都市モデル構築を目指す。</p> <p>(2) 三側面のあるべき姿 提案に際して、三側面（社会・経済・環境）での取組が求められている。</p>	全体計画	自治体SDGs モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年における「あるべき姿」を各自治体の課題に則して設定</li> <li>・ 社会、経済、環境の三側面における「あるべき姿」を実現する。SDGs に則した都市モデルの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様なステークホルダーと連携して地域における自律的好循環を見込める取組を提案</li> <li>・ SDGs 未来都市の中から10都市が選定される。</li> </ul>
全体計画	自治体SDGs モデル事業				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年における「あるべき姿」を各自治体の課題に則して設定</li> <li>・ 社会、経済、環境の三側面における「あるべき姿」を実現する。SDGs に則した都市モデルの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様なステークホルダーと連携して地域における自律的好循環を見込める取組を提案</li> <li>・ SDGs 未来都市の中から10都市が選定される。</li> </ul>				

	<p>社会：子どもや若者が将来に「夢」と「希望」をもてるまち  生まれた育った環境に左右されることなく、自分のやりたい事にチャレンジできる。</p> <p>経済：新しいチャレンジを通して、成長できるまち  区内事業者がICTや先端技術を取り入れて、新たな分野で利益を上げる。</p> <p>環境：オール足立で脱炭素社会の実現に向けて挑戦するまち  再生可能エネルギーやZEBの導入など、行政、企業、区民等の低炭素型の行動変容が行われている。</p> <p><b>4 自治体SDGsモデル事業骨子（特に注力する先導的取組）</b></p> <p>(1) 概要  綾瀬エリアをモデル地域に設定し、ターゲットは次代を担う子どもと若い世代を念頭に置いている。綾瀬エリアデザイン計画により、大きく変わる好機を迎えている綾瀬に、子どもや若者が地域とつながる機会、第三の居場所や活動場所を創出し、子どもたちの逆境を乗り越える力を培う。</p> <p>(2) 三側面の取組例  社会面：地域に開かれた図書室・居場所を兼ねた学習支援事業など  経済面：都市型スマート農業・間引き野菜のブランド化など  環境面：AI需要予測による食品ロス削減・デジタル教材を活用した環境学習の推進など</p> <p>(3) 三側面をつなぐ統合的取組例  ア アヤセ未来会議  綾瀬にある団地「いろどりの杜」でコミュニティビルダーとして活躍している方を中心に、住民等のまちで“やりたい”ことの実現に向けて話し合う場を創出する。</p> <p>イ つながるマルシェ  駅前広場と東綾瀬公園と一体的整備に合わせて、地域に賑わいと交流を生み出す、地域に根付くマルシェを開催する。</p> <p><b>5 今後のスケジュール</b>  3～4月 審査期間・書面評価及びヒアリング（選定団体のみ）  5～6月 選定・公表</p>
<p>問題点  今後の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案事業は多くのステークホルダーとともに進めていく必要があるため、関係者へ事業内容の理解を丁寧に進めていく。</li> <li>・ 提案事業は未来都市採択の結果によっては実施可否の再精査を行った上で、優先度も勘案しながら実施していく。</li> </ul>

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	足立区転出入者アンケートの調査結果について
所管部課名	政策経営部 政策経営課
内容	<p>令和4年1月18日の総務委員会で本アンケートの調査結果を速報した。速報以外の結果もまとまったので、報告する。詳細は別添「足立区転出入者アンケート調査報告書」を参照のこと。</p> <p><b>1 調査結果から見えてきた点</b></p> <p>自由記述意見も含め分析した結果から見えてきたことは、主に以下の5点である。</p> <p>(1) 若い世代は家賃価格等と利便性のバランスの良さで足立区を選んでいる（前回速報で報告）</p> <p>(2) 子育て世帯は住宅購入時に、住宅の広さや価格等住宅事情から区外を選択している（前回速報で報告）</p> <p>(3) 転出入者いずれも「緑・公園・水辺などの自然環境」は高い評価</p> <p>(4) 転出入者いずれも「世間からの評判」「治安や住民のマナー」が低い評価</p> <p>(5) 転出先の行政サービスを調査せずに転出する子育て世代が一定数存在</p> <p><b>2 今後の施策の方向性</b></p> <p>1の分析結果を踏まえ、足立区への若い世代の更なる流入増や子育て世帯の定着を促すために、区が今後講ずべき施策の方向性は以下のとおりである。</p> <p>(1) 公園や自然環境についてのPR強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもあり世帯は転出入に際し、自然環境を重視する傾向があるが、転入後に区の自然環境が充実していることを知った世帯も多いことがわかった</li> <li>・ 区の自然環境の魅力についての区外の方向けのPRを強化し、子育て世帯の転入増につなげる</li> </ul> <p>(2) 区外へのPR戦略の更なる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「世間の評判」は低い評価だが、イメージと異なり、住んでみるとそれほど悪くないと感じている方も多い</li> <li>・ ネガティブな印象がイメージ先行で区外に広まってしまっているため、対外的なイメージを向上させられるよう区外へ</li> </ul>

	<p>のPR戦略を工夫する</p> <p>(3) マナー向上をはじめとした新たなビューティフルウィンドウズ運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「治安の悪さ」について自由記述を分析してみると、犯罪というよりは住民のマナーに関するものが多く存在する</li> <li>・ 従来から継続している犯罪抑止の取組に加え、住民のマナー向上につながる施策に取り組むことで、転入や定着の促進につなげる</li> </ul> <p>(4) 子育て施策の深化とPR方法の更なる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区の子育て施策についての評価は高いが、転出先の行政サービスを調査せずに転出する子育て世帯が約35%存在する</li> <li>・ ASMAPに代表される区の子育て施策の独自性を強く訴えていくことで、子育て世帯の定着、転入増につなげる</li> <li>・ 同時に、他区と比べて見劣りする子育て支援策なども洗い出し支援策の底上げも図る</li> </ul>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>調査結果は全庁で共有し、若い世代の更なる流入増や子育て世帯の定着につながるような施策の充実に努めていく。</p>

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	足立区制90周年記念事業の選定について
所管部課名	政策経営部 政策経営課
内容	<p>令和4年度の足立区制90周年にあたり、下記のとおり記念事業を選定したので報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p><b>1 選定した事業と概要</b> 別紙「区制90周年記念事業一覧」のとおり。</p> <p><b>2 選定基準</b> 区制90周年のコンセプトに合致する事業のうち、下記A～Cのいずれかに該当する主な事業を選定した。</p> <p>A 区制90周年を記念して今回に限り実施する事業 B 100周年を見据えて新たに開始する事業 C 既存事業でも90周年記念要素のインパクトが大きい事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">区制90周年のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で疲弊した期間が続く中、区民に元気や活力を感じてもらえるような事業を実施する。</li> <li>・ 100周年に向けたさらなる飛躍へのターニングポイントとなるような事業を構築する。</li> </ul> </div> <p><b>3 その他</b> 人が集まるイベント等は、その時々新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対策を講じたうえで実施する（状況により中止等の場合もあり）。</p>
問題点 今後の方針	

区制90周年記念事業一覧

【区制90周年記念事業のコンセプト】

- ① コロナ禍で疲弊した期間が続く中、区民に元気や活力を感じてもらえるような事業 **《支える》**
- ② 区制100周年に向けたさらなる飛躍へのターニングポイントとなるような事業 **《未来へ繋ぐ》**

①支える

NO.	担当部	事業名	事業内容	予算額 (千円)	選定 基準
<b>区内経済に活力を！</b>					
1	産業 経済部	㊟レシートde90周年事業	区内消費喚起と消費者支援策として、区内登録店舗での買い物によるレシートを集めた応募者へ区内共通商品券による還元を実施。	49,915	A
2	産業 経済部	商連プレミアム商品券事業	例年実施している商店街振興組合連合会の商品券事業。プレミアム率は通常10%のところ20%に設定。紙券に加えてデジタル券も発行。	100,000	C
3	産業 経済部	㊟キャッシュレス還元祭de90周年事業	コロナ禍で落ち込んだ区内消費喚起とキャッシュレス決済促進のため、還元率20%のキャッシュレス決済事業を実施。	885,050	A
<b>区民に元気と笑顔を！</b>					
4	産業 経済部	足立の花火	打上数の増(2,000発増発)、90周年記念の演出追加。	146,380	C
5	産業 経済部	友好自治体提携40周年・30周年記念交流バスツアー促進事業	提携40周年・30周年の節目を迎える3友好自治体への理解を深め、今後の友好関係をさらに発展させていくため、周年記念交流バスツアー促進事業を実施する。	4,050	A

②未来へ繋ぐ

NO.	担当部	事業名	事業内容	予算額 (千円)	選定 基準
<b>あだちの魅力を未来へ繋ぎ、高める</b>					
1	政策 経営部	足立区外へ向けたシティプロモーション	区外からの評価を高めるため、区内外へのヒアリング調査、イメージ分析などを実施し、民間のノウハウを取り入れた広報・メディア戦略を構築する。	11,000	B
2	地域の ちから 推進部	文化遺産調査特別展	区制80周年から本格化した区の文化遺産調査の集大成として、足立の美術史の根幹となる琳派作品を中心にベストセレクション展を開催する。 ①レセプション(内覧会) 資料所蔵者等関係者のための内覧会を実施する。 ②電子展覧会 電子展覧会特設ページを設け、バーチャル空間を移動しながら展示物を鑑賞できるバーチャルミュージアム(高精細画像を搭載)及び360度視点の動画で博物館見学を疑似体験できるバーチャル見学を実施する。 ③ミュージアムガイド 来館者のスマートフォンを活用し、展示作品を紹介する音声ガイドサービス(QRコードから音声ガイド特設ガイドに接続するタイプ)を導入する。	4,400	C
		文化遺産調査漫画「ビビビ美アダチ」書籍刊行	令和3年度から郷土博物館ホームページや公式Twitterで発信している4コマ漫画を1冊の本にまとめ刊行する。	2,145	
3	衛生部	食育月間	例年実施している食育月間を「おいしい給食」事業と連携し実施。 ①ベジタベ給食の料理講座(地域学習センター、ギャラキティで実施) ②給食メニューの商品化(セブン-イレブン・ベジタハライフ協力店等) ③プレゼント企画	1,196	C
	学校 運営部	おいしい給食メニューコンクール	例年実施している給食メニューコンクールのテーマを「(仮)区制90周年お祝いメニュー」として実施する。 ①夏休みを利用してメニューを募集 ②10月頃に審査、各賞決定 ③区長賞メニューを1月に全校の給食で提供	2,343	
		給食体験	区内主要駅拠点の学校(3校)にて試食を中心とした給食体験を実施する。	924	
		おいしい給食フェア	大型商業施設にて、給食今昔パネル、給食サンプルの展示など。	1,000	
		おいしい給食シンポジウム	区内施設(ホール)を利用し、著名人を招き、給食に携わる関係者向けのシンポジウムを開催する。	500	
子ども 家庭部	足立区90歳おめでとう給食「園児が選ぶ!我が園のおいしい給食」	10月(予定)に区制90周年お祝い給食を実施する。お祝い給食(昼食・間食)の献立は、各園の園児が今までの給食の中から選ぶ。給食のレシピは、ホームページ・SNSで公表する。	0		

NO.	担当部	事業名	事業内容	予算額 (千円)	選定 基準	
<b>心の豊かさを未来へ繋ぐ（文化・読書・スポーツ）</b>						
4	地域の ちから 推進部	芸術鑑賞体験事業	子どもたちに良質な文化芸術に触れる企画を提供し、豊かな心を育むことを目的として、芸術鑑賞体験事業を実施。 ①劇団四季ミュージカル「ライオンキング」「美女と野獣」 ②区立小学校の全小学5年生（約5,000人）が5日間で鑑賞する ③バス借り上げ及び運営調整を委託	97,856	B	
5	地域の ちから 推進部	読書 活動 推進 事業	あだち電子図書館利用登録 キャンペーン	小学校でのタブレット導入を好機ととらえ、学校と連携しながら子どもへのPRを行い、利用1万人増を目指す。 対象期間中に、電子図書館の利用登録をした方に、記念品（タッチペンなど）を配付する。	2,270	B
			子どもへの読書活動推進キャン ンペーン	子どもの読書習慣の定着を図り、区内図書館の貸出利用1万人増を目指す。 ①読書週間イベント 「こどもの読書週間」に合わせて、図書館でイベントを実施する。 例) おすすめ本の紹介企画やブックラリーなどのイベント参加者にブックカバーを配付。本を楽しむきっかけを提供し、読書習慣につなげる。 ②あだちはじめてえほん事業 3～4か月児健診での絵本配付時に、図書館の貸出カードを配付し、乳幼児期からの本に親しむことを促す（3,000人に配付予定）。また、貸出カードの配付に合わせて、電子図書館や3分野連携事業のPRも行う。	1,450	
			図書館×音楽、図書館×芸術	中央図書館を会場にしたコンサートや、シアター1010で演劇と本を組み合わせたイベントを実施する。図書館と他の分野が連携することにより、一方の分野をきっかけに、もう一方の分野に親しむ機会を提供する。	27	
			琳派や足立の歴史にまつわる 本の特集展示	郷土博物館の琳派関連企画と連携した展示を区内図書館15館で行う。身近な場所で区の文化芸術に触れてもらい、地域愛を持ってもらうことにつなげる。 ①夏休みに調べ学習に取り組む子育て世代をターゲットとして、郷土博物館につながる本（図録を含む）の展示を行い、郷土博物館の利用につなげる。 ②電子展覧会や企画展に合わせて、図書館で特集展示を実施する。また、QRコードを活用したデジタルコンテンツの誘導や、収蔵品の資料データを活用したブックカバーの配布等により、区の文化芸術に触れる機会へとつなげる。	500	
6	地域の ちから 推進部	障がい者スポーツ普及事業	オランダ連携で取組んできたスポーツをツールとした共生社会の構築を引続き注力していく。スペシャルライフコートを活用した体験会及び教室の開催回数を増やし、あだちスポーツコンシェルジュの相談・情報発信を通じ、障がい者がスポーツに触れる機会をさらに提供していく。令和4年4月には、キックオフイベントとして「スペシャルライフコートフェスティバル」を実施する。	20,761	C	
<b>それぞれの想いを未来へ繋ぐ</b>						
7	政策経 営部	10年後の私への手紙	10年後の自分にあてた手紙を書いてもらい、区が保管。区制100周年の時に応募時の住所に郵送する。	0	A	
8	総務部	区制90周年記念特別表彰（区政功 労）	「区制90周年記念特別表彰」表彰式を「令和4年度足立区功労者表彰」とあわせて実施する。 ①今年度末に各部に推薦依頼 ②7月頃に審査会実施 ③8月頃受賞者あて表彰式の案内状発送 ④10月1日（土）表彰式	5,731	A	
計				1,337,498		



# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	日本公共サービス研究会の休会について
所管部課名	政策経営部 政策経営課
内容	<p>平成24年度より当区が中心となって実施してきた日本公共サービス研究会について、休会することとしたので報告する。</p> <p><b>1 日本公共サービス研究会の実施経過（詳細は別紙参照）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度に、外部化の事例共有による実践拡大と新たな外部化手法（専門性の高い業務）の構築を目的に設置</li> <li>・ 平成24年度から平成28年度までは、主に外部化について各自治体の取組を研究（有志自治体によるコア会議で研究を進め、総会で発表する形式）</li> <li>・ 平成29年度から令和元年度までは、AI・RPAについて研究（令和元年度は、総会のみで開催で説明、事例発表、パネルディスカッション）</li> <li>・ 令和2年度は緊急事態宣言の発出や新型コロナウイルスワクチン接種の対応のため、開催を延期</li> </ul> <p><b>2 休会にすることとした理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門定型業務の外部化については、当会の活動を受けて、平成27年の骨太の方針に全国的に促進していく旨が明記され、窓口業務に民間委託を導入した自治体も令和2年4月までに463自治体に上るなど（総務省調べ）、一定の成果を挙げることができた。</li> <li>・ AI・RPAやDXについては、デジタル庁や都デジタルサービス局、民間企業主体の講演会など情報共有・検討の場が数多くあり、当区が主体となって研究の場を設定する意義が小さくなっている。</li> </ul> <p><b>3 参加自治体への周知</b> 令和4年1月に休会する旨をメール・郵送にて周知済</p>
問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当区において実施している窓口業務の外部化については、外部委員も含めた評価を継続して実施し、適正な履行を確保していく。</li> <li>・ AI・RPAやDXについても講演会等への参加などにより情報収集を行いつつ、ICT戦略推進担当課と連携し全庁への展開を進めていく。</li> </ul>

## 日本公共サービス研究会 総会 実施経過について

	日時・会場	内容	参加自治体
第1回	平成24年7月27日 天空劇場	来賓挨拶：総務省自治行政経営支援室 小川康則 室長 基調講演：「21世紀の自治体公共サービス編制に向けて」東京大学大学院 金井利之 教授 趣旨説明：足立区総務部長 パネルディスカッション ・関東学院大学経済学部 大住莊四郎 教授 ・埼玉県草加市 中村卓 副市長 ・静岡県伊豆市 渡辺文和 財政課長 ・足立区区民部長 日比谷松夫 ・足立区総務部長 定野司	100団体 139名
第2回	平成25年7月26日 日比谷図書文化館	協賛挨拶：一般社団法人 日本経営協会理事 行政本部長 池田隆年 基調講演：「分権時代における基礎自治体のあり方」東京大学名誉教授 大森彌 研究会の取組みについて：足立区総務部長 定野司 コア会議の運営状況について：足立区政策経営部長 長谷川勝美 事例紹介：「改正地方自治法に基づく内部組織の共同設置を活用した取組みについて」大阪府池田市総合政策推進課 幹事自治体の取組状況について ・「行財政改革／横手市の取組」秋田県横手市総務企画部組織機構再編室 ・「草加市の“行政改革”」埼玉県草加市総合政策部地域経営室 ・「職務プロセス分析による自治体改革」国分寺市政策部 「国民健康保険業務におけるBPO導入検証」：株式会社N T Tデータ 「法務能力の可視化-資格制度の創設について-」：第一法規株式会社 「会計・出納業務における業務外部化について」：株式会社リクルートスタッフィング	67団体 137名
第3回	平成26年3月17日 東京区政会館	協賛挨拶：一般社団法人 日本経営協会理事 行政本部公開研修グループ課長 宮脇芳信 来賓挨拶：総務省自治行政局行政経営支援室長 小川康則 基調講演：「市民自治の視点から見た社会分権型アウトソーシングの意義」福島大学行政政策学類教授 今井照 研究会の展開について：足立区総務部長 定野司 コア会議の運営状況及び会則改正について：足立区政策経営部長 長谷川勝美 提案① 子ども・子育て新制度 外部委託検討について：日本電気株式会社、株式会社三菱総合研究所 提案② 課税業務の外部委託化検討：T I S株式会社 提案③ 児童手当等の支給業務における外部委託化に向けて：株式会社もしもしホットライン 報告：国民健康保険業務委託におけるポイント：株式会社N T Tデータ 幹事自治体の取組状況について：岐阜県多治見市企画部企画防災課 サードセクターによる新たな担い手の現状と課題 今後の可能性：NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター事務局長 藤岡喜美子	96団体 171名
第4回	平成26年9月1日 日比谷図書文化館	協賛挨拶：一般社団法人 日本経営協会理事 行政本部長 宮脇芳信 基調講演：「保障行政論の視点からの公権力の行使」横浜国立大学大学院准教授 板垣勝彦 戸籍業務の外部化に伴う諸課題とその対応について：足立区政策経営部長 長谷川勝美 偽装請負に関する講習会 報告：国民健康保険業務委託におけるポイント 提案① 課税業務の外部委託化に向けて 提案② 児童手当等の支給業務における外部委託化に向けて	77団体 133名
第5回	平成28年2月9日 天空劇場	公共サービス分野における国の取組み： （1）公共サービスイノベーションについて：内閣府参事官（財政運営基本担当） （2）総務省における自治体業務のアウトソーシングに向けた取組みについて：総務省自治行政局行政経営支援室長 自治体報告：横浜市総務事務センター業務委託の概要について 横浜市総務局しごと改革室 外部化展開に伴う諸課題への対応～戸籍・国保業務から～：足立区経営戦略担当課 業務分析①：足立区区民事務所業務の外部委託化にむけて アデコ(株) 業務分析②：足立区子ども子育て支援新制度関係業務分析について：テンプスタッフ(株)	77団体 145名
第6回	平成29年2月8日 天空劇場	基調講演：「外部化推進にあたり必要とされる行政の役割」横浜国立大学大学院准教授 板垣勝彦 公共サービスイノベーションについて：内閣府参事官（経済社会システム担当） 分科会研究テーマ1 子ども・子育て（保育施設入園／給付）業務：所沢市・テンプスタッフ株式会社 分科会研究テーマ2 児童手当・児童扶養手当・子ども医療業務：所沢市・りらいやコミュニケーションズ 分科会研究テーマ3 業務量調査・分析による事務改善の取組み・手法：墨田区・行政経営株式会社	84団体 137名
第7回	平成30年2月7日 天空劇場	マイキープラットフォーム構想の推進について：京都府情報政策統括官 研究テーマ報告1 AIを活用した新たな公共サービスの可能性について：株式会社三菱総合研究所 自治体におけるAI活用の取組みについて：富士通株式会社 公共サービスイノベーションに関する国の取組みについて：内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官 研究テーマ報告2 総合窓口業務における外部委託化とその可能性について：吉川市・パーソルテンプスタッフ(株) 墨田区における業務量調査結果報告：墨田区・行政経営(株)	103団体 192名
第8回	平成31年2月4日 天空劇場	地方行政サービス改革について：総務省自治行政局行政経営支援室長・2040戦略室長 小山市における総合窓口の適切な配置と包括的外部委託について：小山市総務部行政経営課 AIスタッフ総合案内サービス：株式会社三菱総合研究所 RPAを活用した業務改革：ソフトバンク株式会社 RPA導入に際しての留意点：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 自治体におけるスマートメーターデータを活用した公共サービスの可能性：グリッドデータバンク・ラボ(有)	107団体 207名
第9回	令和2年2月5日 天空劇場	スマート自治体への転換に向けて：総務省自治行政局行政経営支援室 窓口の業務改革に取組む先進自治体の事例報告：深谷市企画財政部ICT推進室 RPA導入自治体職員によるパネルディスカッション：小山市、つくば市、文京区、株式会社N T Tデータ	85団体 177名

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	令和3年度行政評価（令和2年度事業実施分）の反映結果について
所管部課名	政策経営部 政策経営課、財政課
内容	<p>令和3年9月に区民評価委員会より「足立区区民評価委員会報告書」が答申された。答申にある区への提言、意見に対する区の考え方・取組みについて、以下のとおり報告する。</p> <p>各提言及び評価意見に対する区の考え方・取組みは、別添資料参照。</p> <p><b>1 「重点プロジェクト事業に関する提言」と「一般事務事業に関する評価意見」に対する区の考え方・取組み</b></p> <p>(1) 重点プロジェクト事業に関する提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 横と縦の広がりとしらなる連携 <span style="float: right;">【提言1】</span></li> <li>イ 分野ごとの事業PR動画の作成とインフルエンサーとしての区民評価委員OBの活用 <span style="float: right;">【提言2】</span></li> <li>ウ 当事者主体の教育と職員サポートの充実 <span style="float: right;">【提言3】</span></li> <li>エ 区民目線で適切な目標値を設定 <span style="float: right;">【提言4】</span></li> <li>オ 活動指標・成果指標の課題と見直し <span style="float: right;">【提言5】</span></li> <li>カ オンライン化実践事例のノウハウの全庁的共有・標準化 <span style="float: right;">【提言6】</span></li> <li>キ ニューノーマルへの対応 <span style="float: right;">【提言7】</span></li> <li>ク 「協創」を根付かせ、「協創」を担う人材を育てる <span style="float: right;">【提言8】</span></li> <li>ケ 区内に留まらずより外に向けた発信 <span style="float: right;">【提言9】</span></li> </ul> <p>(2) 一般事務事業に関する評価意見（総括意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア デジタル化における効率性と公平性への配慮</li> <li>イ 時間の経過に伴う事業手法の再検討</li> <li>ウ 補助金の効果を高めるためのさらなる工夫</li> </ul> <p><b>2 各事業単位の評価に対する反映結果</b></p> <p>重点プロジェクト事業（46事業）と一般事務事業（12事業）についての反映結果を、「令和3年度行政評価の反映結果報告書」としてまとめ次第、議会各会派にデータで配付する。</p>
問題点 今後の方針	<p>「令和3年度行政評価の反映結果報告書」は、区政情報課及び区内図書館等に配付するとともに、区ホームページで公表する。</p>

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	足立区外国人実態調査結果（速報）について												
所管部課名	政策経営部 政策経営課 あだち未来支援室 子どもの貧困対策・若年者支援課 地域のちから推進部 地域調整課												
内容	<p>令和3年10月～11月にかけて実施した足立区外国人実態調査について、集計結果の速報値を報告する。（詳細は別添資料のとおり）</p> <p><b>1 調査概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20歳から59歳までの区内在住外国人の中から、国籍別・在留資格別人口比率等を勘案して5,000名を抽出</li> <li>調査票（日本語および5ヶ国語で作成）を対象者へ送付後、郵送またはWebで回答</li> </ul> <p><b>【回収状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="422 884 1348 1079"> <thead> <tr> <th>回収種別</th> <th>回収数</th> <th>全送付件数に対する回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郵送回答</td> <td>1,026件</td> <td>20.52%</td> </tr> <tr> <td>Web回答</td> <td>430件</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,456件</td> <td>29.12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 対象者を抽出した際の国籍・在留資格等の各比率とほぼ同じ比率で回答を得ることができた。</p> <p><b>2 調査結果（回答のあった約3割の外国人）から見た主な傾向</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活に支障のない程度に日常会話ができ、職業や住まいなど安定した生活基盤を持つ外国人の割合が高かった。</li> <li>一方で、日本語レベル別で生活満足度を比べると、日本語ができない層の満足度が低い傾向にあった。</li> </ul> <p><b>3 日本語能力が不十分な外国人に関する集計・分析と今後の取り組み</b></p> <p>日本語能力が不十分な外国人の主な困りごとについて、下記の分野ごとに集計結果、分析結果、今後の取り組みをまとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>生活上の困りごと</li> <li>困りごとの相談相手</li> <li>災害時の心配ごと</li> <li>進学希望と困りごと</li> </ol>	回収種別	回収数	全送付件数に対する回収率	郵送回答	1,026件	20.52%	Web回答	430件	8.6%	合計	1,456件	29.12%
回収種別	回収数	全送付件数に対する回収率											
郵送回答	1,026件	20.52%											
Web回答	430件	8.6%											
合計	1,456件	29.12%											
問題点 今後の方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>学識経験者の協力のもと詳細な分析を継続し、令和4年5月頃までに調査結果を報告書にまとめる。</li> <li>令和4年度以降も調査を継続し、困りごとの具体的な内容を深掘りするとともに、未回答だった外国人へのアプローチについて検討する。</li> </ol>												

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の報告について																					
所管部課名	政策経営部 経営戦略推進担当課																					
内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け取り組んできた、各部関連事業の「オリンピック・パラリンピック機運醸成事業及びレガシー事業」を取りまとめたので報告する。</p> <p><b>1 オリンピック・パラリンピック関連事業（まとめ）について</b></p> <p>各事業を、下記の5つの専門部会に分けて事業を進めてきた。</p> <table border="1" data-bbox="456 741 1445 1285"> <thead> <tr> <th>部会</th> <th>主な担当課（★部会長 ☆副部会長）</th> <th>事業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ・健康</td> <td>★スポーツ振興課、☆こころとからだの健康づくり課、地域調整課、地域包括ケア推進課 等</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>文化・教育</td> <td>★教育政策課、☆地域文化課、地域調整課、教育指導課、子ども政策課 等</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>まちづくり</td> <td>★地域調整課、☆企画調整課、危機管理課、環境政策課、生活環境保全課 等</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>経済・観光</td> <td>★産業政策課、産業振興課</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>広報・広聴</td> <td>★報道広報課、シティプロモーション課、区政情報課、区民の声相談課 等</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>※主なオリンピック・パラリンピック関連事業は別紙のとおり          ※関連事業一覧は、別添資料のとおり</p> <p><b>2 参考情報：東京2020大会開催結果</b></p> <p>令和3年9月の東京都開催都市本部資料（本部長：都知事）によると、オリンピックでは過去最多と並ぶ205の国・地域、約11,000人、パラリンピックでは、リオ大会を上回る162の国・地域、約4,400人が参加。新型コロナウイルスによって分断された世界をスポーツの力で一つにし、世界中の人々に勇気と希望を届けたと評価している。</p> <p>大会組織委員会は令和3年12月22日に大会経費の見通しを発表（1兆4530億円）。今後、あらためて大会経費の詳細について明らかにしていくとしている。</p>	部会	主な担当課（★部会長 ☆副部会長）	事業数	スポーツ・健康	★スポーツ振興課、☆こころとからだの健康づくり課、地域調整課、地域包括ケア推進課 等	40	文化・教育	★教育政策課、☆地域文化課、地域調整課、教育指導課、子ども政策課 等	44	まちづくり	★地域調整課、☆企画調整課、危機管理課、環境政策課、生活環境保全課 等	49	経済・観光	★産業政策課、産業振興課	21	広報・広聴	★報道広報課、シティプロモーション課、区政情報課、区民の声相談課 等	26	計		180
部会	主な担当課（★部会長 ☆副部会長）	事業数																				
スポーツ・健康	★スポーツ振興課、☆こころとからだの健康づくり課、地域調整課、地域包括ケア推進課 等	40																				
文化・教育	★教育政策課、☆地域文化課、地域調整課、教育指導課、子ども政策課 等	44																				
まちづくり	★地域調整課、☆企画調整課、危機管理課、環境政策課、生活環境保全課 等	49																				
経済・観光	★産業政策課、産業振興課	21																				
広報・広聴	★報道広報課、シティプロモーション課、区政情報課、区民の声相談課 等	26																				
計		180																				
問題点 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業アーカイブ（リーフレット）を作成し、区民事務所、住区センター、地域学習センターなどの区内施設等で配布する。</li> <li>180事業のうち主な関連事業の決算額については、2年度、3年度を合わせて令和3年度普通会計決算のあらましで報告する。</li> </ul>																					

(1) スポーツ・健康部会



【機運醸成事業 P1-No.1】

オランダ連携プロジェクト事業

2017 年から共生社会先進国のオランダと連携して、花畑地域の小・中学校と特別支援学校で展開。パラアスリートからあきらめない心、努力することの大切さなど多くのことを学んだ。



【レガシー事業 P1-No.4】

あだちスポーツコンシェルジュ

オランダの障がい者スポーツ普及の取り組みを学び、2020 年 9 月、障がい者の運動・スポーツ相談窓口を開設。体験会や相談を通じて障がい者のスポーツの機会を作り出す。



【レガシー事業 P1-No.1・2】

スペシャルライフコート

ヨハン・クライフ財団から一部寄付をいただき、2020 年 11 月、総合スポーツセンターに開設。障がいの有無に関わらず誰もが運動・スポーツを楽しめる、バリアフリーのコート。

(2) 文化・教育部会



【機運醸成事業 P3-No.18】

東京五輪音頭

小・中学校 20 校では運動会等で保護者や地域の方と東京五輪音頭を踊り、大会の機運醸成を図った。また、運動会ではオリパラにちなんだ様々な取り組みで子どもたちが楽しんだ。



【機運醸成事業 P3-No.19・20  
P4-No.21】

おいしい給食

東京 2020 大会に参加する各国の料理を給食にアレンジ。また、給食メニューコンクールでは子どもたちが考えた「世界の料理」を募集。小・中学校、保育園で給食として提供した。



【レガシー事業 P2-No.8】

オリンピック・パラリンピック学習

小・中学校 104 校で、パラリンピアンや海外のゲストティーチャーを招いた講演会や体験会等を実施。オリパラの歴史や精神、国際理解、国際親善などを学んだ。

(3) まちづくり部会



【機運醸成事業 P1-No.2・3】

美化推進事業(花のあるまちかど・花いっぱいコンクール) (ごみゼロ・清掃美化活動)

金メダルにちなんだマリーゴールドの苗を配付、沿道で育成してもらうことで、まちを美しく彩った。また、町会自治会等の団体が清掃活動を実施した。

【レガシー事業 P3-No.14・15】

不法投棄対策・民有地の落書き消去支援

東京 2020 大会開催に向け、きれいなまちでおもてなしをするため「オリンピック・パラリンピック開催記念キャンペーン」で通報強化、通報協力員募集を行い、不法投棄および落書きの重点点検・消去を実施。

【レガシー事業 P1-No.2】

六町駅前安全安心ステーションの開設 (愛称：ろくまる)

六町駅周辺のさらなる治安向上のため、防犯の拠点として令和 3 年 11 月開設。

誰でも気軽に立ち寄れ、警察官 O B 職員が常駐、防犯に関するアドバイスも受けられる。

(4) 経済・観光部会



【機運醸成事業 P2-No.9】

区内施設装飾 (シティドレッシング)

大会マスコット・エンブレム横断幕・懸垂幕を小・中学校 104 校や地域学習センター等に掲出。また、オリンピック期間中はゆかりの選手ののぼり旗を設置し大会を盛り上げた。

【機運醸成事業 P2-No.12】

商店街活性化フラッグ事業

48 商店街に約 2,000 枚の東京 2020 大会フラッグを飾った。

(5) 広報・広聴部会



【機運醸成事業 P2-No.9】

あだち広報オリパラ特集号

区ゆかりの選手の紹介や、オリンピック・パラリンピックのイメージカラーの 1 面デザインなど、継続した特集で機運醸成を図った。

# 総務委員会報告資料

令和4年2月28日

件名	区公式ホームページの多言語化機能の変更について
所管部課名	政策経営部 広報室 報道広報課、区議会事務局
内容	<p>区公式ホームページの多言語化自動翻訳について、令和4年4月8日から機能拡充するため報告する。</p> <p><b>1 目的</b></p> <p>(1) 現在利用している翻訳機能を、最新技術を利用したAI翻訳エンジンにバージョンアップすることで、翻訳の精度を上げる。</p> <p>(2) あわせて、翻訳対応言語を現行の16言語から108言語に拡充して、日常的に外国語を使う方への区の情報発信を強化する。</p> <p><b>2 利用する翻訳エンジン</b></p> <p>(1) Google翻訳</p> <p>(2) DeepL (ディープエル)</p> <p>※ DeepLは評価が高い翻訳エンジン。当初は英語のみ優先活用し、その他の言語はGoogle検索と精度を比較しながら追加活用を検討していく。</p> <p>※ 翻訳はテキスト情報とし、PDF形式や画像データは対象外。</p> <p><b>3 主な機能</b></p> <p>(1) 携帯端末等が日本語以外に設定されている場合は、その言語で自動的に表示。</p> <p>(2) 携帯端末等の画面上に表示する「メニュータブ」から言語を選択し翻訳する。</p> <p><b>4 利用開始日</b></p> <p>令和4年4月8日(金曜日) 午前0時から(予定)</p> <p><b>5 導入費用</b></p> <p>(1) セットアップ費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切り替えに伴う現ホームページの改修費用は、令和3年度の保守契約内で対応する。</li> </ul> <p>(2) 翻訳エンジン使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の翻訳システム使用料は、保守経費に含まれ、令和4年4月以降も保守経費に含むこととする。</li> <li>・ 機能拡充に伴う追加費用は、令和4年度予算の枠内で対応する。</li> </ul>



	<p><b>6 他ホームページとの関係</b></p> <p>(1) 区有施設のホームページとの連動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行、区公式ホームページを日本語以外に翻訳し、その状態のままギャラクシティや生物園などのホームページ（16サイト）に遷移すると、区のホームページで選択した言語で自動的に翻訳する機能を有している。</li> <li>・ 本機能は、新翻訳エンジンでも継続する。</li> </ul> <p>(2) 区議会ホームページとの連動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行、上記（1）と同様の機能を有する。</li> <li>・ 区民の利便性をさらに向上させるため、区公式ホームページと同様の機能を追加する予定（2月28日現在詳細調整中）。</li> <li>・ 切り替えに係る改修費用は、令和3年度の保守契約内で対応する。翻訳エンジンの使用料は、既存機能のグレードアップであるため、現行通り、区公式ホームページ保守に含むものとする。</li> </ul> <p><b>7 事業者</b></p> <p>区公式ホームページ開発・保守事業者 グローバルデザイン株式会社（静岡市葵区紺屋町17-1）</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>翻訳精度や使い勝手について、導入に向けて引き続き動作確認・導入調整を進める。</p> <p>令和4年4月稼働予定の区・災害ポータルサイトでも同様の検索エンジンを使用する。</p>